

## 単純X線撮影検査

### 単純X線撮影検査とは？

エックス線を体に照射して写真を撮る検査で、いわゆるレントゲンと呼ばれています。

健康診断の胸のレントゲン写真や、けがをしたとき、骨折の有無を調べる検査で、誰でも受けたことがあります。

対外から照射されたエックス線は、体内を通過する時に、骨や体の臓器などによって吸収されるエックスの量が異なります。

このエックス線の吸収の差を利用して画像を作ります。

(骨は吸収が大きいため白く写り、肺は逆に黒っぽく写ります。)

当院には、撮影室が4部屋あり、胸部・腹部・四肢・脊椎・乳房(マンモグラフィ)などの撮影を行っています。

また、全ての部屋において CR(コンピューテッド・ラジオグラフィ)、DR(デジタルラジオグラフィ)といいった画像をデジタルで収集するシステムを用いています。



### 検査を受けるに当たって

以下のものは写真に写り、画像診断の妨げになりますので、外していただきます。

- ・ ヘアピン、イヤリング、ピアス、眼鏡など(頭部撮影)
- ・ ネックレス、ブラジャー、スリップなど(胸部撮影)
- ・ ボタン、ファスナーなどのついた衣類(胸部・腹部撮影)
- ・ プリントなどのついた衣類(胸部・腹部撮影)
- ・ 使い捨てカイロ、湿布、エレキバン

胸部や腹部などの撮影において、必要に応じて検査着に着替えていただく場合があります。

妊娠中、または妊娠の可能性のある方は事前に担当者にご相談ください。

**検査時間**

胸部撮影で数分、腰椎撮影で約10分程度です。

しかし、痛みが強い患者さんや撮影部位が多い患者さんなどの場合、これ以上の時間がかかることがあります。

